

祝

今年度 MFTA®(国際検定テクニカルアナリスト)に合格された

西村 三養子氏の論文が見事

IFTAの

**ジョン・ブルークス賞**

を受賞しました。

今年度、テクニカルアナリスト第3次試験受験者の中から

最も優秀な研究論文に与えられる

「ジョン・ブルークス賞」に

西村 三養子氏の論文が選ばれましたので

栄誉を祝したいと思います。



※「ジョン・ブルークス賞」とは・・・

IFTA 創設者の一人であるジョン・C・ブルークス氏が亡くなられた後、その功績を記念してできたテクニカル分析における年間最優秀論文に与えられる賞である。

ジョン・C・ブルークス氏とは・・・

米国検定テクニカルアナリストであり、ウォール街の証券会社を振り出しに、40年以上を一貫してテクニカルアナリストとして働き、ネッド・デーヴィス・リサーチ、ラウリーレポートなど有力市場分析サービス会社の幹部を歴任。米国のテクニカルアナリスト団体であるMTA、および25ヵ国で7000人以上が加盟する国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) の共同創設者であり、チェアマンを務めた。テクニカル分析の学問的、社会的地位の向上にも尽力し、米国では多くの大学で正式な科目として取り入れられるようになった。長年の貢献に対し、MTA 及びサンフランシスコのテクニカルアナリスト団体から栄誉表彰された。斯界のゴッドファーザー的存在。2007年6月10日死去。

『ブルークス流 テクニカル運用戦略』ジョン・C・ブルークス(著) 日本テクニカルアナリスト協会(訳)  
(東洋経済新報社 2008年)より抜粋